

令和5年度 委員会活動報告

ケアステーション藤が原



ケアステーション藤が原では、全職員がいずれかの委員会に所属し、サービスマン向上やリスクマネジメント等に取り組んでいます。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、全体行事や面会方法、ユニット炊飯や大皿配膳、地域との交流などコロナ禍前と同等に再開するにあたり、各委員会で連携して取り組みを行いました。引き続きの感染予防対策の徹底や、自然災害等への備えも行いました。各委員会より、令和5年度の活動内容を「報告させていただきます。

感染症予防対策委員会

新型コロナウイルスやインフルエンザなど、感染症予防対策の周知徹底や、感染予防マニュアルの見直しを行いました。施設で感染症が発生したことを想定した業務継続計画の策定、見直しも行って行きました。また、ガウンテクニックや、感染区域と清潔区域のゾーニング方法等について内部研修の実施、感染予防対策に必要なマスクやガウンなど衛生材料の備蓄調整も行いました。

褥瘡予防対策委員会

褥瘡予防対策委員会では、褥瘡の予防ケアに重点をおき、体重の増減や栄養状態の確認、福祉用具の適正な使用や体圧分散のための姿勢保持などの検討を行いました。また、発症後の早期改善のため、ケア方法の見直しや医療処置のほか、排泄用品の選び方やあて方、皮膚洗浄液の使用方法などの研修を全職員を対象に5回実施しました。

令和5年度の褥瘡発症者(延人数19人)その内施設外からの持ち込み褥瘡者(4名)
臀部7名 仙骨部1名 大転子部3名 腸骨部1名 踵部3名 外踝部1名 下腿部1名
耳介部1名 手背部1名
※令和6年3月31日現在、皆様治癒され有症者はいません。

身体的拘束適正化検討委員会 虐待防止委員会

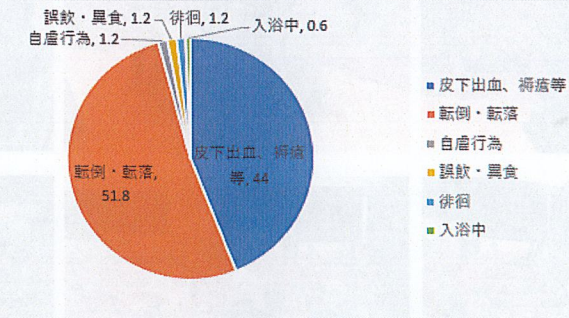
「身体拘束ゼロ」「虐待防止」に向けて取り組みを行っています。令和5年度の具体的な活動内容は以下の通りです。
・身体拘束、虐待防止のための内部研修の実施
・虐待防止及び身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会の開催
・委員会での検討結果の周知
・マニュアル、指針の見直し
・適切な福祉用具が使用されているかの確認と福祉用具の点検、清掃など

地域貢献・地域交流委員会

【主な活動内容】
・ユニットリーダー研修受入れ
・大学、専門学校生の介護、看護実習受入れ
・中学生職場体験受入れ
・小学校との交流会
・「藤が原夏祭り」の実施
・藤内神社「夏越祭」、「飯富まつり」への参加
・飯富地区ミックスバレーボール大会への参加
・献血への協力
・地域の子供たちに対して、施設の庭の開放
・講師の派遣等

事故防止委員会

事故防止委員会は、定例会議の他、多職種が集うミーティング内で、発生した事故の検証と改善対策の立案、実施後の確認について取り組みを行いました。令和5年度の事故発生件数は、166件で内訳は左記の通りです。今後も「利用者が安全に生活できるように、事故の予防と再発防止に努めてまいります。



環境美化委員会

環境美化委員会の活動について報告を致します。

- 【定期清掃】
・職員玄関、下駄箱、更衣室
エレベーター室内、ダムウエーター荷室
ゲストルーム、職員休憩室、職員トイレ
・汚物処理室、倉庫の換気扇、特浴室エアコンフィルター
・非常階段、避難用滑り台
・各ユニットの共有部（レンジフード、コセント周り、排気口フィルター、換気扇、エアコンフィルター等）
- 【施設周辺美化活動】
・花壇の手入れ、草取り
・ゴミ拾い

防災委員会

令和5年度の自衛消防訓練は「総合訓練」(出火場所の特定、初期消火、通報、避難に至る一連の流れ)、夜勤者と宿直者のみで行う「夜間想定避難訓練」を含む計6回実施しました。総合訓練では、迅速かつ安全に避難する方法を確認し、夜間想定訓練では、限られた人数で避難誘導を行いました。また、防災の意識を高めることを目的に停電時の対応方法についての「停電訓練」や、火災時の煙を模した「煙体験訓練」、地震時に「自分の身を守る安全行動」についての「地震想定訓練」や、日用品の備蓄状況についての確認も行いました。
また、大規模災害など緊急事態が起きた際のリスク管理として、事業継続計画の見直しも行いました。

ご意見・苦情についての報告

令和5年度、「利用者」、「家族」より寄せられた苦情は3件でした。内容としてはケアの内容に関わる事項について1件、職員の対応について1件、私物の管理に関わる事項について1件でした。いただいたご意見は、施設内で共有し改善に向けて取り組んでおります。今後も皆様の声を大切に、サービスマン向上に努めてまいります。

ユニットケア推進委員会

入居者一人ひとりの望む暮らしの実現に向け、個別ケアの実践と居住環境の整備に努めました。
【主な取り組み】
○施設内を家庭的な雰囲気にするための意見交換や改善策の検討・実施。居室の設えを整えるため、必要に応じてご家族にも協力していただきました。
○業務においてご家族にも協力していただき、改善策を検討・実施しました。
今後もユニットケアを通じてご利用者が自分らしく生活できるよう支援してまいります。

広報・行事委員会

広報委員会では、毎月「藤が原通信」を発行し、「ご利用者の生活の様子や施設の取り組みについて」など広報活動を行いました。
行事委員会では、全体行事の企画・運営や、ユニットごとの行事のサポートなどを行いました。

- 7月 七夕イベント 8月 夏祭り
- 9月 敬老会 12月 クリスマス会
- 1月 新年会 2月 節分
- 3月 ひな人形展

栄養マネジメント会議

主な活動内容は次の通りです。
○栄養ケアプランの立案・見直し・検討(多職種で協議)
○おいしく・楽しく食べて頂ける食事作り(行事食やディナーショーの実施、イベント食の実施)

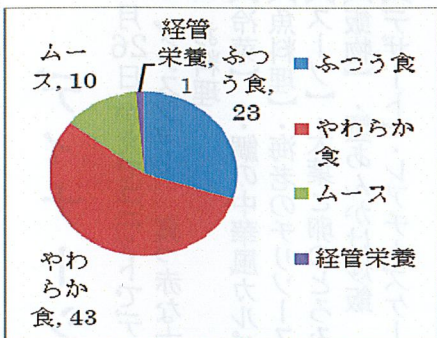


お花見御膳 (4月)



節分料理 (2月)

○食中毒予防対策として、マニュアルの確認と見直しを行いました。また、主な食中毒菌について理解を深め、正しい対策をとることで食中毒の発生を防ぐことができました。引き続き、安心・安全な食事提供に努めて参ります。
尚、令和6年3月31日現在の特養入居者(入院者は除く)の食事形態は次の通りです。



- ふつう食【23名】
- やわらか食【43名】
- ムース食【10名】
- 経管栄養【1名】